

令和3年度（2021年度）  
地方創生推進交付金事業、  
地方創生拠点整備交付金事業  
及び企業版ふるさと納税  
寄附充当事業の効果検証

令和3年（2021年）11月

熊 本 県

## 地方創生推進交付金（内閣府地方創生推進事務局）

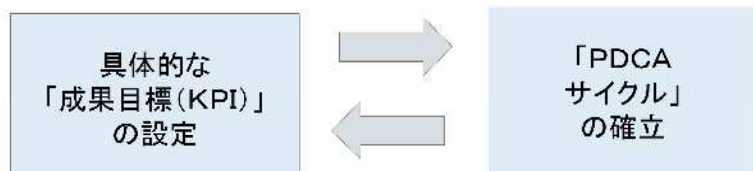
令和2年度予算概算決定額 1,000億円

（令和元年度予算額 1,000億円）

### 事業概要・目的

○第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の初年度における地方創生のより一層の推進に向けた取組を支援します。

- ① 地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援
- ② KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援
- ③ 地域再生法に基づく法律補助の交付金とし、安定的な制度・運用を確保



※本交付金のうち50億円については、地方大学・産業創生法に基づく交付金として執行

### 事業イメージ・具体例

#### 【対象事業】

- ① 先駆性のある取組及び先駆的・優良事例の横展開
  - ・官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、中核的人材の確保・育成
  - 例) しごと創生、観光振興、地域商社、スポーツ・健康まちづくり、生涯活躍のまち、働き方改革、小さな拠点、商店街活性化 等
- ② わくわく地方生活実現政策パッケージ（移住・起業・就業支援）
  - ・東京圏からのUIJターンの促進及び地方の担い手不足対策
  - 例) 地域の中核的存在である中小企業等への就業に伴う移住、地域における社会的課題の解決に取り組む起業、現在職に就いていない女性、高齢者等の新規就業支援 等

#### 【手続き】

○地方公共団体は、対象事業に係る地域再生計画（概ね5年程度）を作成し、内閣総理大臣が認定します。

	交付上限額（国費）	申請上限件数
都道府県	先駆3.0億円 横展開1.0億円	原則9事業（うち広域連携3事業）
中枢中核都市	先駆2.5億円 横展開0.85億円	原則7事業（うち広域連携2事業）
市町村	先駆2.0億円 横展開0.7億円	原則5事業（うち広域連携1事業）

### 資金の流れ



（1/2の地方負担については、地方財政措置を講じます）

### 令和2年度からの主な運用改善

- ① Society5.0を推進するための全国的なモデルとなる取組を支援するSociety5.0タイプ（仮称）の新設（交付上限額(国費)3.0億円、申請上限件数の枠外）
- ② 複数年度にわたる施設整備事業の円滑化（本交付金のうち30億円を地方創生拠点整備交付金として措置）
- ③ 移住支援事業の要件緩和（対象者・対象企業の拡大）

# 地方創生拠点整備交付金（内閣府地方創生推進事務局）

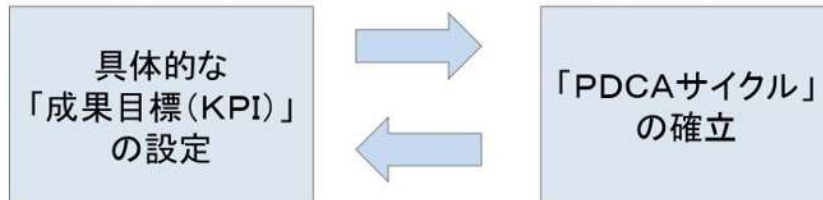
30年度2次補正予算額（案） 600億円（事業費ベース 1,200億円）

## 事業概要・目的

○地域経済の活性化という喫緊の課題に対応するため、地域の観光振興や住民所得の向上等の基盤となる先導的な施設整備等を支援する。これにより、所得や消費の拡大を促すとともに「まち」を活性化させ、地方の定住・交流人口の拡大にも寄与する。

① 地域の所得や消費の拡大を促すとともに「まち」の活性化につながる先導的な施設整備等を支援

② KPIを伴うPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組



## 事業イメージ

### 【主な対象施設のイメージ】

- 地域資源を効果的に活用し、ローカルイノベーションを起こすことにより、観光や農林水産業の先駆的な振興に資する施設
- 地方への人の流れを飛躍的に加速化し、地方への移住や起業等に確実につながる施設
- 地域における多様な働き方を先駆的に実現し、女性や高齢者の就業を効果的に促進するための施設
- 地域での魅力的なまちづくりを実現し、交流人口の拡大や地域の消費拡大に効果的に結びつく施設

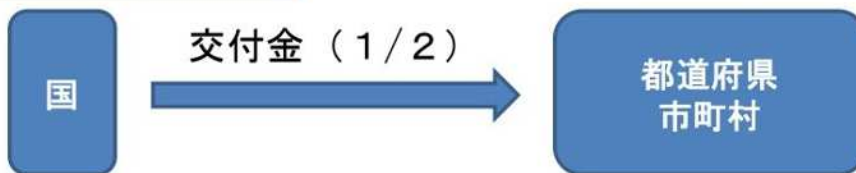
### 【手続き】

○地方公共団体は、対象事業に係る地域再生計画を作成し、内閣総理大臣が認定。

### 【執行柔軟化】

○法令に基づく一定の要件を満たす事業については、交付決定後、地方公共団体において基金を造成することで、平成32年度においても事業を実施することを可能とする。

## 資金の流れ



## 期待される効果

○地域の観光振興や住民所得の向上等の基盤となる施設の整備等を通して、所得や消費の拡大を促すとともに「まち」を活性化させることで、地方の定住・交流人口の拡大にも寄与し、地方創生の充実・強化につなげる。

## 地方創生推進交付金事業プロジェクト一覧（令和2年度実施分）

NO.	プロジェクト名	大分類	小分類	実績額(千円)	繰越額(千円)
1	阿蘇草原再生・しごと創生プロジェクト	しごと	①	19,043	
2	IoTを核とした人材育成と実証による産業創出イノベーション推進事業	しごと	③	4,140	
3	熊本都市圏東部地域をはじめとした創造的復興による地方創生プロジェクト	しごと	③	41,244	
4	自然共生型産業を核とした地域未来投資促進プロジェクト	未来投資	③	15,025	50,000
5	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムによる交流人口拡大プロジェクト	人の流れ	②	4,169	
6	くまもと県南フードバレー 地域農産物活用拠点強化プロジェクト	未来投資	①	59,698	
7	阿蘇カルデラのめぐみを活用した観光産業創造事業	未来投資	②	7,461	5,000
8	「くまもとではたらく」若者の県内定着促進プロジェクト	人の流れ	②	23,377	
9	大河ドラマを契機とした県北地域の広域周遊観光プロジェクト	しごと	②	0	
10	「くまもと暮らし」スタートアップ応援プロジェクト	人の流れ	②	35,351	
11	集え未来の担い手！技能継承”SMART”推進プロジェクト	しごと	①	28,371	
12	くまもと発！自然共生型産業成長促進プロジェクト	しごと	③	16,862	
13	「選ばれる熊本」を目指して！人の流れ創出プロジェクト	人の流れ	②	26,167	
14	くまもと版地方創生移住支援事業／くまもと版地方創生企業支援事業	移住、起業、就業	-	10,176	
15	新たな視点での取組みによる持続可能な地域の実現プロジェクト	しごと	③	38,859	
16	成長産業化に向けたくまもと型林業イノベーションプロジェクト	しごと	①	11,428	4,868
17	若者の雇用促進による熊本へ人の流れの創出プロジェクト	人の流れ	②	41,301	
18	熊本版 第4次産業革命に向けた先端技術導入を軸とした地場産業成長プロジェクト	しごと	③	51,289	
19	更なる高みへ！「農業」を軸としたビジネスモデル展開プロジェクト	しごと	①	997	50,000
20	熊本県女性新規就業支援事業	新規就業支援	-	0	
21	未来へつなげるくまもと農業の人材確保・育成プロジェクト	人の流れ	②	25,818	
合計				460,776	109,868



## 地方創生推進交付金事業プロジェクト分類（令和2年度実施分）

大分類	小分類	プロジェクト数	実績額 (千円)	繰越額 (千円)
しごと創生	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	4	59,839	54,868
	② 観光振興(DMO)等の観光分野	1	0	0
	③ (①、②を除く)ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野	5	152,394	0
地方への人の流れ	② 移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野	6	156,183	0
地域未来投資促進法 関連事業	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	1	59,698	0
	② 観光振興(DMO)等の観光分野	1	7,461	5,000
	③ (①、②を除く)ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野	1	15,025	50,000
移住支援、マッチング支援、起業支援		1	10,176	0
新規就業支援		1	0	0
合計		21	460,776	109,868

## 令和2年度におけるKPI（重要業績評価指標）の状況

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中	⑥令和3年度以降にKPIを設定
21	60	30	3	3	14	7	3

## 令和2年度で終了したプロジェクトの事業期間全体のKPIの状況

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中	⑥令和3年度以降にKPIを設定
6	16	7	2	2	3	2	0

## 地方創生推進交付金事業プロジェクト一覧（繰越分）

NO.	プロジェクト名	大分類	小分類	実績額(千円)	繰越額(千円)
1	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムによる交流人口拡大プロジェクト	人の流れ	②	29,278	
2	くまもと県南フードバレー 地域農産物活用拠点強化プロジェクト	未来投資	①	50,000	
3	中山間地域におけるしごと創生・好循環プロジェクト	しごと	①	3,771	
合計				83,049	

## 地方創生推進交付金事業プロジェクト分類（繰越分）

大分類	小分類	プロジェクト数	実績額 (千円)	繰越額 (千円)
しごと創生	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	1	3,771	
地方への人の流れ	② 移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野	1	29,278	
地域未来投資促進法 関連事業	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	1	50,000	
合計		3	83,049	

## 地方創生拠点整備交付金事業プロジェクト一覧（H28年度補正～H30年度補正実施分）

NO.	プロジェクト名	予算区分	大分類	小分類	実績額 (千円)
1	産業技術拠点高度化プロジェクト	H28年度 補正 (第1回)	しごと	③	163,154
2	県産材利用促進のための研究開発・技術支援の拠点強化プロジェクト		しごと	①	128,945
3	攻めの中山間地域のための新たな茶業モデル拠点形成プロジェクト		しごと	①	120,061
4	農業・農村活性化のための担い手育成・交流拠点整備プロジェクト		人の流れ	②	325,227
5	「旅客ターミナル」を核とするみなと活性化プロジェクト		しごと	②	80,000
6	クロマグロ養殖研究機能の強化プロジェクト		しごと	①	30,127
7	次世代型平坦地域農業ローカルイノベーション拠点形成プロジェクト		しごと	①	29,150
8	中山間地域における果樹農業の好循環拠点形成プロジェクト		しごと	①	40,294
9	阿蘇の景観維持のための高原農業モデル拠点形成プロジェクト		しごと	①	39,966
10	熊本城二の丸に佇む熊本県立美術館機能強化プロジェクト ～熊本城復元と合わせた美術館の機能強化による交流人口の拡大～	H28年度 補正 (第2回)	しごと	②	58,098
11	畜産新技術導入による生産性・競争力強化プロジェクト	H29年度 補正	しごと	③	102,423
12	海藻増養殖研究機能強化による海藻の生産性革命プロジェクト		しごと	①	63,517
13	林業生産性向上のための研修拠点強化プロジェクト		しごと	①	207,765
14	阿蘇草原を活用した畜産農家の放牧・飼養管理生産性革命プロジェクト		しごと	③	89,930
15	先端技術を活用した畜産の生産性革命プロジェクト		しごと	③	354,319
16	長期貯蔵による農産物の生産性向上・高付加価値化拠点形成プロジェクト		しごと	①	107,702
17	情報通信及び解析技術を活用した施設園芸の統合環境制御による生産性 向上プロジェクト		しごと	①	255,108
18	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムにおける中核拠点整備 プロジェクト	H30年度 補正	人の流れ	②	121,862
合計					2,317,648

## 地方創生拠点整備交付金事業プロジェクト分類（H28年度補正～H30年度補正実施分）

大分類	小分類	プロジェクト数	実績額 (千円)
しごと創生	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	10	1,022,635
	② 観光振興(DMO)等の観光分野	2	138,098
	③ (①、②を除く)ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野	4	709,826
地方への人の流れ	② 移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野	2	447,089
合計		18	2,317,648

## 令和2年度におけるKPI（重要業績評価指標）の状況

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中	⑥令和3年度以降にKPIを設定
18	53	11	4	3	28	6	1

## 令和2年度でKPI設定期間が終了したプロジェクトの事業期間全体のKPIの状況

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中	⑥令和3年度以降にKPIを設定
9	27	5	3	4	13	2	0



# 企業版ふるさと納税

地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について法人関係税を税額控除

## 制度のポイント

- 企業が寄附しやすいよう、
  - ・損金算入による軽減効果に税額控除による軽減効果を上乗せ
  - ・寄附額の下限は10万円と低めに設定
- 寄附企業への経済的な見返りは禁止
- 寄附額は事業費の範囲内とすることが必要

※ 不交付団体である東京都、不交付団体で三大都市圏の既成市街地等に所在する市区町村は対象外。  
 ※ 本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外。



例) 1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減。

- ①法人住民税 寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ②法人税 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)
- ③法人事業税 寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)

## 活用の流れ

①地方公共団体が地方版総合戦略を策定



②①の地方版総合戦略を基に、地方公共団体が地域再生計画を作成

地域再生計画



④寄附



⑤税額控除

企業が所在する自治体 (法人住民税・法人事業税)



国 (法人税)

◆ 地域再生計画の認定を受けた地方公共団体の数:46道府県1,095市町村(令和2年度第4回認定後)

※ 地方創生推進交付金の地方負担分に、200万円以上又は交付対象事業費の1割以上の金額の寄附金を充当する場合は、横展開タイプ(3年間)の事業であっても最長5年間の申請が可能となる。

## 令和2年度寄附受入実績（分野ごと）

NO.	寄附対象分野	件数	寄附金額(千円)
1	新型コロナウイルス感染症への対応	3	100,600
2	令和2年7月豪雨からの復旧・復興	19	27,811
3	熊本地震からの復旧・復興	5	11,130
4	地方創生の取組全般	8	22,927
	合計	35	162,468

## 寄附充当事業一覧（令和2年度実施）

NO.	事業名	プロジェクト名(地方創生推進交付金)	分野	充当額(千円)
1	熊本地震デジタルアーカイブ事業	熊本都市圏東部地域をはじめとした創造的復興による地方創生プロジェクト	熊本地震	2,000
2	熊本空港周辺地域における産業振興創出事業		熊本地震	1,130
3	熊本地震震災ミュージアム具体化推進事業	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムによる交流人口拡大プロジェクト	熊本地震	2,000
4	「くまもとではたらく」若者の県内定着事業	「くまもとではたらく」若者の県内定着促進プロジェクト	地方創生	4,000
5	熊本県ブライト企業推進事業		地方創生	2,000
6	移住定住促進事業	「くまもと暮らし」スタートアップ応援プロジェクト	地方創生	3,000
7	スマート農業普及推進事業	集え未来の担い手！技能継承“SMART”推進プロジェクト	地方創生	2,000
8	次世代ベンチャー創出支援事業	くまもと発！自然共生型産業成長促進プロジェクト	地方創生	2,707
9	小規模事業者復興支援コーディネート事業	「選ばれる熊本」を目指して！人の流れ創出プロジェクト	地方創生	2,501
10	健康長寿推進事業	新たな視点での取組みによる持続可能な地域の実現プロジェクト	地方創生	2,000

## 寄附充当事業一覧（令和2年度実施）

NO.	事業名	プロジェクト名(地方創生推進交付金)	分野	充当額 (千円)
11	熊本を支える産業人材育成事業	若者の雇用促進による熊本への人の流れの創出プロジェクト	地方創生	1,000
12	プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業		地方創生	1,000
13	第4次産業革命推進事業	第4次産業革命に向けた先端技術導入を軸とした地場産業成長プロジェクト	地方創生	2,000
14	くまもと農業の継承支援事業	未来へつなげるくまもと農業の人財確保・育成プロジェクト	地方創生	2,000
15	畜産経営復旧緊急支援事業	—	豪雨災害	550
	小計			29,888
■基金積立				
①コロナ、②豪雨、③熊本地震、④地方創生				132,580
	合計			162,468



地方創生推進交付金事業  
(令和2年度実施分)



## 推進 1

プロジェクト名(事業期間)	阿蘇草原再生・しごと創生プロジェクト（平成28年度～令和2年度）
プロジェクト概要	熊本地震で甚大な被害を受けた阿蘇地域の農畜産業及び観光産業の再生のため、阿蘇の雄大な草原の維持保全及び活用の観点から、雇用創出及び交流人口拡大に取り組む。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	阿蘇草原再生事業	企画振興部	17,820	8,910	阿蘇の草原の維持・再生に向け、地元後継者の育成、放棄地における野焼き再開支援、恒久防火帯の整備、野焼きボランティアの拡充支援等を実施。中でも地震後に野焼きを休止していた牧野の再開支援に重点的に取り組んだ結果、野焼き再開面積が大きく増加。
2	阿蘇草原再生・しごと創生プロジェクト推進事業	農林水産部	6,308	3,154	野草の更なる活用を進めるため、普及啓発資料を作成し、周知啓発を実施。また、阿蘇地域産農産物の販売促進、高付加価値化を図るため、九州の世界農業遺産認定地域とともに世界農業遺産の情報発信イベントを実施。併せて、阿蘇の草資源を活用したビジネス化に向けた地域内の取り組みを支援。
3	放牧活用型草原等再生事業	農林水産部	13,958	6,979	阿蘇市等9市町村の33牧野組合等が実施する牧柵、簡易給水施設、簡易捕獲器等の整備を支援し、牧野(草原)の有効活用を推進。
			38,086	19,043	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成28年度増加分		平成29年度増加分		平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		平成28年度～令和2年度増加分		令和2年度 評価	平成28年度～令和2年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
採草オペレーター組織による採草面積 40ha(H26) → 300ha(R2)	農林水産部	ha	40	0	60	60	30	100	20	100	80	0	15	260	205	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成
阿蘇地域の放牧頭数 7,300頭 → 5,189頭(R2)	農林水産部	頭	7,300	-3,300	-900	261	721	319	183	319	-363	290	集計中 (R3.12)	-2,111	集計中 (R3.12)	⑤実績値集計中	⑤実績値集計中
野焼き放棄地における再開地面積 185ha → 400ha(R2)	企画振興部	ha	185	40	10	40	45.5	50	36	50	110	35	50	215	252	①目標値を達成	①目標値を達成

## 推進 2

プロジェクト名(事業期間)	IoTを核とした人材育成と実証による産業創出イノベーション推進事業（平成28年度～令和2年度）
プロジェクト概要	留学生や外国人労働者約100人(アジア圏出身者中心)を情報ネットワーク化したうえで、ビジネスアイデアを発掘し、プロジェクト化するビジネスプランを選定。プロジェクト化に向けて企業とのマッチングや実証事業を実施。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	「熊本県IoT推進ラボ」事業	商工労働部	8,281	4,140	外国人留学生や労働者による外国人等企画室を立ち上げ、スマート農業をテーマに、IoTを活用したビジネスアイデアを検討するワークショップや現場見学会を実施。検討された2つのアイデアについて、関係者を交えて成果発表を実施。
			8,281	4,140	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成28年度増加分		平成29年度増加分		平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		平成28年度～令和2年度増加分		令和2年度 評価	平成28年度～令和2年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
プロジェクト化や新たなビジネスの創出（加賀市:10件、熊本県:30件）	商工労働部	件	0	-	-	0	2	5	17	10	25	25	16	40	60	③目標値の5割以上を達成	①目標値を達成

推進 3

プロジェクト名(事業期間)	熊本都市圏東部地域をはじめとした創造的復興による地方創生プロジェクト（平成29年度～令和3年度）【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	特に甚大な被害を受けた熊本都市圏東部地域のポテンシャルを最大限に活かした創造的復興を実現し、県経済を力強く牽引するとともに、誰もが安心して便利に暮らせる地域となるよう、空港の機能強化、防災力強化、観光産業再生による地方創生を実現。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	BCP策定等推進事業	商工労働部	8,664	4,332	BCP等の作成支援に関して、次のとおり実施。 ①普及啓発セミナーを12月に2回開催。オンラインを含め合計105名が参加。 ②事業継続力強化計画策定ワークショップを1～2月にオンラインで3回開催。合計51者が参加。 ③BCP策定ノウハウ習得講座を2月にオンラインで2回開催。合計21者が参加。 ④事業継続力強化計画普及啓発セミナーを2月にオンラインで開催。12者が参加。 ⑤事業継続力強化計画申請へのフォローアップ(申請に当たっての助言等)を15社に対して実施。
2	熊本地震デジタルアーカイブ事業	知事公室	42,537	21,268	熊本地震に関連する資料の収集やデジタル化を行い、アーカイブサイトにて7万3千点(累計20万点)を公開。
3	熊本空港周辺地域における産業振興創出事業	商工労働部	24,896	12,448	空港周辺地域における新産業創出施策「UXプロジェクト」を推進するため、県内の社会・環境・産業等に関する基礎調査を実施するとともに、外部有識者による検討委員会の意見を踏まえ、基本構想を策定。
4	工業団地施設整備事業	商工労働部	6,391	3,196	企業立地を促進し雇用の機会を確保するため、企業誘致に資する新規工業団地の適地選定に係る基礎調査を実施。
			82,487	41,244	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成29年度増加分		平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		平成29年度～令和3年度増加分		令和2年度 評価	平成29年度～令和3年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
阿蘇くまもと空港の利用者数 323万人(H27)→390万人(R3)	企画振興部	万人	323	7	36	10	12	12	-19	18	-243	20	67	④目標値の達成は5割未満			
地域資源を活かした交流人口減少に歯止めをかけるための取組みへの支援件数 9件(H28)→40件(R1)	企画振興部	件	9	14	17	14	11	12	14	0	0	0	40	①目標値を達成			
アーカイブ化のための資料収集件数 5万件(H28)→20万件(R1)	知事公室	万件	5	10	1	3	13	2	3	3	3	3	21	①目標値を達成			

推進 4

プロジェクト名(事業期間)	自然共生型産業を核とした地域未来投資促進プロジェクト<地域未来投資>（平成29年度～令和3年度）
プロジェクト概要	自然共生型産業の創出に向けて、新たな方式による未来型農業の実現や、強みのある商品の更なる生産性向上、高付加価値なヘルスケア商品の生産など、地域の事業者等への経済波及効果が期待できる地域経済牽引事業を支援。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	地域未来投資促進事業補助金(自然共生型産業分野)	商工労働部	0	0	地域の事業者等への高い経済的効果が期待できる地域経済牽引事業のうち、高付加価値な大豆製品を開発・量産化する製造ラインの拡張事業1件に対して、必要な設備投資を支援。(新型コロナウイルス感染症の影響により、導入予定設備の納期が遅延し、次年度に補助金の繰越を行ったため、総事業費は0と記載。)
2	社内イノベーションによる未来投資促進事業	商工労働部	30,051	15,025	地域経済牽引事業を継続的に創出するプロデューサー型人材(社内イノベーター)を育成するため、講義形式のプログラム及びワークショップ型の実践型プログラムの人材育成事業を実施し、合計20名が受講。
			30,051	15,025	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成29年度増加分		平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		平成29年度～令和3年度増加分		令和2年度 評価	平成29年度～令和3年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業実施による新規雇用者数 0人(H28)⇒100人(R3)	商工労働部	人	0	-	-	25	86	25	58	25	集計中 (R3.12)	25	100	⑤実績値集計中			
社内イノベーターの育成数 0人(H28)⇒40人(R3)	商工労働部	人	0	-	-	10	20	10	13	10	12	10	40	①目標値を達成			
地域経済牽引事業における支援の対象となる設備投資に対する支援事業者と支援事業者との取引額が多い過半の域内の事業者の売上額、取引額又は給与支払額の合計額の増加額 0円(H28)⇒2,816,000千円(R3)	商工労働部	千円	0	-	-	704,000	672,489	704,000	423,277	704,000	集計中 (R3.12)	704,000	2,816,000	⑤実績値集計中			

推進 5

プロジェクト名(事業期間)	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムによる交流人口拡大プロジェクト（平成30年度～令和2年度）【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	地震断層等の震災遺構を巡る回廊型フィールドミュージアムを実現し、熊本地震の記憶や経験、教訓を国内外に発信することで防災・減災の取組に貢献する。さらに回廊ルートを新たな観光資源と捉え、県内の観光地とつなぎ巡ることで、交流人口の拡大を図るとともに、地域産業の振興や地域の活性化を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業額(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	熊本地震震災ミュージアム具体化推進事業	観光戦略部	4,484	2,242	旧東海大学阿蘇キャンパス内の震災遺構の一般公開を令和2年8月1日から開始するとともに、関係市町村と連携した語り部養成研修の実施、熊本地震震災ミュージアムホームページ等による平成28年熊本地震の情報発信を実施。
2	熊本地震震災ミュージアム中核拠点整備事業	観光戦略部	0	0	新型コロナウイルス感染症の影響により、体験・展示施設の実施設計を見送り。
3	熊本地震デジタルアーカイブ事業	知事公室	1,982	991	復旧・復興の過程を記録するための被災箇所(447地点)の定点撮影を実施。
4	震災ミュージアムを活用した教育旅行誘致促進事業	観光戦略部	1,873	936	教育旅行の誘致促進を図るため、教育旅行サイトをリニューアルし、震災ミュージアムと連携した防災・減災プログラム等の情報発信を実施。
			8,338	4,169	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		平成30年度～令和4年度増加分		令和2年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
回廊型フィールドミュージアム訪問者数 0人(H29)⇒30,000人(R2)	観光戦略部	人	0	400	3,333	2,600	1,758	27,000	26,451	5,000	/	85,000	/	120,000	/	②目標値の7割以上を達成	/
震災遺構や熊本地震を伝える拠点を巡るツアー参加者数 0人(H29)⇒3,000人(R2)	観光戦略部	人	0	200	223	200	14	2,600	4,033	500	/	8,500	/	12,000	/	①目標値を達成	/
回廊型フィールドミュージアム訪問による観光消費額の増加額 0円(H29)⇒294,000千円(R2)	観光戦略部	千円	0	3,920	19,550	25,480	35,250	264,600	270,877	255,500	/	1,334,500	/	1,884,000	/	①目標値を達成	/

推進 6

プロジェクト名(事業期間)	くまもと県南フードバレー 地域農産物活用拠点強化プロジェクト（平成30年度～令和2年度）
プロジェクト概要	県南地域の農産物に対するBtoB市場を中心としたニーズ獲得に向け、地域商社を活用した販路開拓や、高い処理能力・機能を持つ農産物の一次加工等を行う地域拠点整備を推進し、食産業の集積（フードバレーの形成）による地方創生を推進する。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業額(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	フードバレー地域農産物加工施設整備支援事業（一次加工所等整備、販路開拓）	農林水産部	119,395	59,698	一次加工所等整備：地域経済牽引事業者による、たもぎ茸加工品製造、麦類等加工品製造、カット野菜や惣菜等製造、粉末調味料等製造に関する設備及び施設の整備を4件支援。 販路開拓：地域商社である(株)KASSE JAPANとフードバレー推進協議会が連携し、BtoB市場を中心とした販路開拓支援や商品開発支援等を実施。
			119,395	59,698	

KPI	指標担当部局	単位	事業	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		平成30年度～令和2年度増加分		令和2年度 評価	平成30年度～令和2年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
当事業の支援による施設整備等に伴う地域経済牽引事業者による新規雇用者数 0人(H29)⇒45人(R3)	農林水産部	人	0	2	3	11	13	32	9	/	/	/	/	45	25	④目標値の達成は5割未満	③目標値の5割以上を達成
当事業の支援により施設整備等を行った地域経済牽引事業者及びその地域経済牽引事業者との取引額が多い地域事業者の施設整備等をしてから3年後の売上の合計額 878,000千円(ハード事業による設備投資補助予定総額439,000千円の2倍)	農林水産部	千円	0	-	-	97,500	27,853	280,900	59,105	/	/	/	/	378,400	86,958	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
地域経済牽引事業者及び地域事業者によるBtoB関係の新規取引(契約)件数 0件(H29)⇒50件(R3) ※一次加工・OEM等	農林水産部	件	0	5	17	17	108	28	142	/	/	/	/	50	267	①目標値を達成	①目標値を達成

推進 7

プロジェクト名(事業期間)	阿蘇カルデラのめぐみを活用した観光産業創造事業（平成30年度～令和2年度）
プロジェクト概要	阿蘇山上から全方位で楽しめる異なるコンテンツ・アクティビティを充実させ、それらを繋ぐ阿蘇観光周遊ルートを確立することで、日帰り・通過型の観光地から周遊・滞在型の観光地へ転換し、地域内全体へ経済波及効果をもたらすよう官民協働で各事業に取り組む。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	くまもとの復興を牽引する観光産業創造事業(プログラムコーディネート支援)	観光戦略部	9,991	4,995	阿蘇地域の周遊性・潜在性を高めるため、阿蘇地域の観光素材やこれまでに造成したプログラムを活用し、観光客と地元のニーズにあったプログラムのコーディネートを実施。
2	くまもとの復興を牽引する観光産業創造事業(阿蘇山上の観光産業再興)	観光戦略部	4,931	2,465	自然環境や天候に左右されずに楽しむことができるVRコンテンツを制作し、施設内でVR体験を行うための機器の整備や、HP等でVRに関する情報発信を実施。
3	くまもとの復興を牽引する観光産業創造事業(地域の拠点となる観光拠点強化事業)	観光戦略部	0	0	阿蘇山上、草千里のアクティビティを活かす、阿蘇の素材を使った「おにぎりテイクアウト」事業を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、補助事業者が事業計画の見直しを行ったため、令和3年度へ事業を繰越。
			14,922	7,461	

KPI	指標担当部局	単位	事業	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		平成30年度～令和2年度増加分		令和2年度 評価	平成30年度～令和2年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設への入場者数の増加 0人(H29)⇒152,000人(R2)	観光戦略部	人	0	49,000	134	57,000	194,584	46,000	-47,958					152,000	146,760	④目標値の達成は5割未満	②目標値の7割以上を達成
事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設における阿蘇地域在住者雇用者数 0人(H29)⇒14人(R2)	観光戦略部	人	0	5	5	3	8	6	9					14	22	①目標値を達成	①目標値を達成
事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設を巡る旅行商品プログラムの造成数 0本(H29)⇒15本(R2)	観光戦略部	本	0	3	3	5	7	7	21					15	31	①目標値を達成	①目標値を達成

推進 8

プロジェクト名(事業期間)	「くまもとはたらく」若者の県内定着促進プロジェクト（平成30年度～令和2年度）【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	深刻化する人口流出と、それに伴う県内企業の人手不足を解消するため、地元就職の促進に効果的な年代である若者(学生)をターゲットとし、Uターン就職の支援や県内就職に関する情報発信等を実施することにより、若者の県内への「還流」と「定着」を促進し、将来の熊本を支え、次代を担う人材の確保を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	「くまもとはたらく」若者の県内定着促進事業	商工労働部	36,494	18,247	熊本、東京、大阪、福岡に設置した「熊本県UIJターン就職支援センター」において、UIJターン希望者と県内企業の相談対応やイベント実施によるマッチング支援、各種情報発信を実施。
2	熊本県プライト企業推進事業	商工労働部	10,260	5,130	若者の県外流出防止を図るため、プライト企業を新たに27社認定(認定総数348社)し、その取組みをガイドブック等により学生に対し周知。また、新型コロナウイルス感染症の影響により企業と学生の双方が接触できない状況のため、昨年度に引き続きYouTubeチャンネル「熊本県プライト企業PLUSチャンネル」にてWEB企業説明会の配信を実施。
			46,754	23,377	

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		平成30年度～令和2年度増加分		令和2年度 評価	平成30年度～令和2年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
「Uターン就職サポーター(仮)」を通じて熊本へUIJターン就職をした新卒学生数 0人(H29)⇒110人(R2)	商工労働部	人	0	-	-	50	31	60	24					110	55	④目標値の達成は5割未満	③目標値の5割以上を達成
「新規学卒者(県内大学)の県内就職率」 39.9%(H28)⇒57.9%(R2)	商工労働部	%	39.9	6	3.7	6	-0.3	6	2.1					18	5.5	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
「プライト企業」に就職した新卒学生数 646人(H29)⇒2,046人(R2)	商工労働部	人	646	200	1,251	600	1,080	600	1,807					1,400	4,138	①目標値を達成	①目標値を達成

## 推進 9

プロジェクト名(事業期間)	大河ドラマを契機とした県北地域の広域周遊観光プロジェクト（平成30年度～令和2年度）
プロジェクト概要	NHK大河ドラマ「いだてん」の放送を契機として、主人公の金栗四三氏ゆかりの玉名市・和水町における新たな観光素材の創出や磨き上げ、住民を含む官民一体となった観光客受入体制の整備等により観光振興を図ると同時に、誘客効果の持続や県北全域への周遊を促進する広域的な取組みにより、地域全体の活性化を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	大河ドラマを活用した広域観光振興事業	観光戦略部	0	0	令和2年度事業は、金栗四三関連施設をはじめとする玉名地域の観光素材を含めた旅行商品の造成・販売を行う旅行会社を助成することとしていたが、コロナ拡大・緊急事態宣言の発令等の影響により、催行前にツアーが全てキャンセルとなったため、事業未実施。
			0	0	

KPI	指標担当部局	単位	事業	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		平成30年度～令和2年度増加分		令和2年度 評価	平成30年度～令和2年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
玉名市及び和水町日帰り客数 191万人(H28)⇒333万人(R2)	観光戦略部	人	1,910,000	473,330	850,834	473,330	424,725	473,340	集計中 (R3.12)					1,420,000	集計中 (R3.12)	⑤実績値集計中	⑤実績値集計中
大河ドラマ化を記念したマラソン大会参加者数 玉名市 0人(H29)⇒5,000人(R2) 和水町 1,400人(H29)⇒2,000人(R2)	観光戦略部	人	1,400	200	582	4,200	1,727	1,200	0					5,600	2,309	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
金栗氏に関連した商品の開発数 0件(H29)⇒100件(R2)	観光戦略部	件	0	50	239	30	1	20	0					100	240	④目標値の達成は5割未満	①目標値を達成

## 推進 10

プロジェクト名(事業期間)	「くまもと暮らし」スタートアップ応援プロジェクト(令和元年度～令和3年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	地方暮らしに興味のある層への情報発信や熊本への移住を希望する県外居住者に対する受入体制の整備・情報発信の強化など移住希望者のステージに応じた取組みにより、移住定住を促進するとともに地域活動の担い手や人材の確保を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	移住定住促進事業	企画振興部	79,893	35,351	本県への移住定住を促進するため、移住情報誌への連載や移住相談会(オンライン開催)の開催など、移住希望者のステージに応じた取組みを体系的に実施し、移住相談窓口を通じて56人の移住を実現。
			79,893	35,351	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和元年度～令和3年度増加分		令和2年度 評価	令和元年度～令和3年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
移住者数 6人(H29)⇒106人(R3)	企画振興部	人	6	15	29	30	56	55						100		①目標値を達成	
地域おこし協力隊の定住率 54.2%(H29.3)⇒65.0%(R3)	企画振興部	%	54.2	1.8	19.8	4	13	5						11		①目標値を達成	
東京・大阪相談窓口における移住相談件数 1,250件(H29)⇒5,650件(R3)	企画振興部	件	1,250	1,350	1,911	1,450	1,349	1,600						4,400		②目標値の7割以上を達成	



推進 11

プロジェクト名(事業期間)	集え未来の担い手！技能継承”SMART”推進プロジェクト(令和元年度～令和3年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	農業、水産業の一次産業、建設業や製造業を始めとした技能職等を若者に魅力ある産業として定着させ、かつ実践的な技術・技能を若いうちから学ぶなど、即戦力としての技術・技能を身に付け、継承していく仕組みを構築する。さらには、現にその産業を支えている担い手の技術力・生産力の向上を図り、人口減少社会における県内主要産業の稼ぐ力を高める。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	みらいの技能士育成事業	商工労働部	606	303	中学校への「事前学習会、職場体験」及び高校への「技能体験セミナー」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事業未実施。技能士のスキルアップを支援するため、技能検定の事前講習会を実施した技能団体(4団体)に、助成金を交付。
2	スマート農業普及推進事業	農林水産部	18,117	9,059	スマート農業の労働時間やコスト等を算出し、収支を示した経営指標(水稲部門、畜産部門、施設園芸部門)を作成し、公表。また農業高校と連携して、スマート農業の実演会を県内11校のうち8校で実施。将来の担い手である農業高校生への周知と啓発活動を実施。更に、ホームページ「アグリくまもと」内に、スマート農業のページを設け、関連情報を周知。
2	スマート農業移管分 くまもとトマトリノベーション推進事業	農林水産部	859	429	精度の高いトマト出荷予測システムの構築を目的に、ほ場で葉面積を測定するカメラを導入。得られたカメラ画像の解析や過去の産地データ、気象情報等を基に、出荷予測システムの精度向上に向けた取組みを実施。
2	スマートな農村づくり検討・実証事業	農林水産部	9,770	4,885	水田地帯における水管理の労働時間削減効果実証のため、自動給水栓12基を設置。
3	阿蘇草原スマート農業実証事業	農林水産部	502	251	牧野における放牧管理及び草地管理の省力化を図るために、遠隔家畜管理システム及び草地管理省カシステム(リモコン式刈取機)の実証を実施。
4	スマート養殖業技術開発事業	農林水産部	25,000	12,500	労働負担の軽減や収益性の向上のため、IoTを活用した自動給餌システムを30基開発し、海上の現場に設置。その後、設置したシステムにより収集されるデータを基に、給餌量等を最適化するためのAI活用方法の検討を開始。
5	農高・農大連携によるスマート農業実証実験	農林水産部	1,888	944	農業関係高校3校に、ハウス内環境測定用センサー及びカメラを設置し、前年度に設置した5校とネットワークでつなぎ、栽培データをお互いに見える化し、情報を共有。農大・農大連携会議を2回開催し、栽培情報の意見交換を実施。
			56,742	28,371	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和元年度～令和3年度増加分		令和2年度 評価	令和元年度～令和3年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
スマート農業・養殖業導入に係る労働時間の削減率 0% (H30)⇒15%(R3)	農林水産部	%	0	5	6	5	11	6	/	/	/	/	/	16	/	①目標値を達成	/
農業大学校卒業者の就農率 56%(H30) → 61%(R3)	農林水産部	%	56	1	2.4	2	16.2	2	/	/	/	/	/	5	/	①目標値を達成	/
高校生の技能検定受検者数 1,242人(H30)⇒1,429人 (R3)	商工労働部	人	1,242	63	282	62	-411	62	/	/	/	/	/	187	/	④目標値の達成は 5割未満	/

## 推進 12

プロジェクト名(事業期間)	くまもと発！自然共生型産業成長促進プロジェクト(令和元年度～令和3年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	シーズの発掘から育成まで一貫してベンチャーを支援するシステムにより、企業をめざす者が起業しやすい環境、新たなビジネスが絶え間なく生まれ育ちやすい環境を整備し、熊本の活力創造につなげる。また、資金調達が困難な創業初期のベンチャーが必要とする研究開発等を実施しやすい環境を整備し、成長を加速化する。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	次世代ベンチャー創出支援事業	商工労働部	33,742	16,862	新たな成長産業の創出につながる起業者やベンチャー等の取組みを後押しするため、ベンチャーコンテストを実施し、32社・チームを発掘。また、創業初期のベンチャーが実施する研究開発、ベンチャーが行うインターンシップ受入れ等を支援。
			33,742	16,862	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和元年度～令和3年度増加分		令和2年度 評価	令和元年度～令和3年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業を通じたベンチャーへの就業者数 17人(H30)⇒38人(R3)	商工労働部	人	17	5	29	7	集計中 (R3.11)	9	/	/	/	/	/	21	/	⑤実績値集計中	/
事業を通じたベンチャーの資金調達額 80,000千円(H30)⇒350,000千円(R1～R3の総額)	商工労働部	千円	80,000	100,000	499,000	100,000	集計中 (R3.11)	150,000	/	/	/	/	/	350,000	/	⑤実績値集計中	/
事業を通じた次世代ベンチャーコンテスト延べエントリー件数 88件(H30)⇒142件(R3)	商工労働部	件	88	15	32	18	32	21	/	/	/	/	/	54	/	①目標値を達成	/

## 推進 13

プロジェクト名(事業期間)	「選ばれる熊本」を目指して！人の流れ創出プロジェクト(令和元年度～令和3年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	県内企業等において、復興需要や県全体の人口減少の影響などから、人材確保に苦慮している状況を打破するため、地元に住む若者や県外に出た第2新卒者や外国人など、県内外・国内外から熊本県を就職先とし選んでもらうための支援や環境づくりを行い、人材の還流や地域経済の活性化を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	小規模事業者復興支援コーディネート事業	商工労働部	36,934	18,467	熊本地震からの復旧・復興に課題を抱える小規模事業者等の支援拠点として設置している「熊本県復興経営サポートオフィス」で、対象事業者の経営の再建を促進。 1.プッシュ型支援(支援事業者数:延べ302者)…地震後の業績回復が遅れている小規模事業者や集中支援が必要であると判断した被災事業者を対象に実施。 2.モデル型支援(支援事業者数:延べ201者)…県内経済の復興に繋がる取組みを行う小規模事業者を対象に実施。 3.各種セミナー開催(開催回数:11回、受講者数:延べ226名)
2	(工業系)高校生県内就職率アップ推進事業	商工労働部	400	200	高校生が県内企業に就職する環境整備を支援するため、企業の社員寮新設、改修に対する利子相当額や寮のリースに対するリース料に対する補助を実施。併せて、企業が新規にインターンシップ受入れ実施に対する補助を実施(社員寮補助実績0社、インターンシップ補助実績4社)。
3	熊本型人材マッチングプラットフォーム事業	商工労働部	15,000	7,500	県内外の新卒者等の県内就職を促進するため、オンライン面談、ウェブサイトの機能強化及び登録者の推進等を支援。ウェブサイトへの登録企業153社、求人掲載数55社、求職者登録397名を実現。
4	外国人材活躍促進支援事業	商工労働部	0	0	新型コロナウイルス感染症の影響により、入国制限が実施され新規入国ができないなど外国人材の受入れに大きな変化が生じたこと、また企業側もコロナ対策が喫緊の課題であること等から事業の実施は困難と判断したため事業未実施。
			52,334	26,167	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和元年度～令和3年度増加分		令和2年度 評価	令和元年度～令和3年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
グループ補助金交付先の売上回復事業者数 2,760者(社)(H29)⇒4,140者(社)(R2)	商工労働部	社	2,760	230	122	505	-528	735	/	/	/	/	/	1,470	/	④目標値の達成は5割未満	/
県内工業高校生の県内就職率 41.2%(H29)⇒47.2%(R2)	商工労働部	%	41.2	2	-0.3	2	1.1	2	/	/	/	/	/	6.0	/	③目標値の5割以上を達成	/
拠点を介した第2新卒者等(大卒、セカンドキャリア)の県内就職決定数 0人(H29)⇒160人(R2)	商工労働部	人	0	10	1	50	30	100	/	/	/	/	/	160	/	③目標値の5割以上を達成	/
日本語の教え方講習会への参加企業数 0社(H29)⇒75社(R2)	商工労働部	社	0	20	98	25	0	30	/	/	/	/	/	75	/	④目標値の達成は5割未満	/

推進 14

プロジェクト名(事業期間)	くまもと版地方創生移住支援事業／くまもと版地方創生起業支援事業(令和元年度～令和6年度)
プロジェクト概要	県内企業と就職希望者とのマッチングを図るマッチングサイトを整備し、県内企業に就職し、または社会的事業等の分野において起業した者に対して移住に必要な経費を支給するとともに、社会的事業等の分野において起業したものに対して起業に必要な経費を支給することで、地域における人材確保を確実なものとし、地域の活力の維持、発展につなげていく。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	移住定住促進事業	企画振興部	6,977	3,489	東京圏在住者の移住を促進するため、本県のマッチングサイトに掲載している県内企業求人への就業者6名の移住を支援。また、起業に必要な経費の一部を補助する起業支援補助金の対象者のうち、東京圏在住者の2名の移住を支援。
2	「くまもとはたらく」若者の県内定着促進事業	商工労働部	3,000	1,500	熊本、東京、大阪、福岡に設置した「熊本県UIJターン就職支援センター」において、UIJターン希望者と県内企業の相談対応やイベント実施によるマッチング支援、各種情報発信を実施。
3	移住定住促進事業	企画振興部	10,376	5,188	地域コミュニティを維持し、地域住民や移住者の自立した地域づくりを推進するため、地域課題の解決に資することを目的として新たに起業した4名に対し、起業に必要な経費の一部を補助。 また、地域の課題解決に効果的な起業を促進するため、県が業務の一部を委託する外部団体と連携し、起業者への伴走支援を実施。
			20,353	10,176	

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和元年度～令和6年度増加分		令和2年度 評価	令和元年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
本移住支援事業に基づく移住就業者数 0人(H30)⇒913人(R6)	企画振興部	人	0	73	0	168	6	168	/	168	/	168	/	168	/	913	/	④目標値の達成は5割未満	/
本移住支援事業に基づく移住起業家数 0人(H30)⇒12人(R6)	企画振興部	人	0	2	0	2	2	2	/	2	/	2	/	2	/	12	/	①目標値を達成	/
本移住支援事業に基づく起業家数 0人(H30)⇒18人(R6)	企画振興部	人	0	3	3	3	4	3	/	3	/	3	/	3	/	18	/	①目標値を達成	/
マッチングサイトに新たに掲載された求人数 0件(H30)⇒11,900件(R6)	商工労働部	件	0	900	269	2,200	1,016	2,200	/	2,200	/	2,200	/	2,200	/	11,900	/	④目標値の達成は5割未満	/

推進 15

プロジェクト名(事業期間)	新たな視点での取組みによる持続可能な地域の実現プロジェクト(令和2年度～令和4年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	従来の取組みとは異なる、新たな視点により、交流人口の拡大や健康づくりの取組み等をモデル的に実施するとともに、持続可能な地域の実現に向けた基盤づくりを行う。地域自らが主体となって継続的に取組みを行う体制を整え、地域の取組みが自走化することで、地方創生の実現につなげる。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	SDGs推進事業	企画振興部	1,680	840	SDGsを原動力とした地方創生の実現を後押しするため、「SDGs普及啓発事業」を創設。SDGsの普及啓発に意欲的な企業、団体(計7団体)の活動を支援。
2	地域づくりチャレンジ推進事業 (地域課題解決プロデューサー人材活用事業)	企画振興部	9,510	4,755	人材育成や資金調達のアドバイス等を総合的に行うプロデューサー人材を地域団体の活動を支援する団体に配置し、地域課題解決に取り組む地域団体(2団体)を支援。
3	健康長寿推進事業	健康福祉部	13,271	6,635	健康寿命を伸ばすための6つのアクション(運動、食事、禁煙、健診、口腔ケア、休養)の推進に賛同し、健康づくり活動を実践する企業・団体を「くまもとスマートライフプロジェクト応援団」として登録。セミナーやウォーキングイベント等を実施し、企業等の活動を支援。
4	商店街活性化支援事業	商工労働部	4,382	2,191	人口減少や高齢化に対応した持続可能な商店街の振興を図るため、県内各商店街が抱える固有の課題を解決するための取組みを支援。
5	スポーツ振興活性化事業	観光戦略部	19,127	9,563	スポーツを通じた交流人口の拡大を目指すために、本県のスポーツツーリズムの推進戦略を策定。また、スポーツ合宿・キャンプ誘致の為にパンフレットやホームページの作成に加え、サイクルツーリズム推進の為にサイクルスタンドを設置。
6	コンテンツを活用した誘客推進事業	観光戦略部	16,654	8,327	アニメ「夏目友人帳」とコラボした動画を制作し、人吉・球磨地域の魅力を発信。(YouTubeで配信。R3.6.25時点で、38万回以上再生)
7	くまもと観光地域応援社発展事業	観光戦略部	1,820	910	水前寺エリアの観光名所で「おもてなし武将隊」が観光案内を行う音声ガイドの制作や、端末及びイヤホンの有償貸出を支援。((一財)熊本国際観光コンベンション協会) また、自転車レンタル+体験のパッケージ商品化を支援。((一社)みなみあそ観光局)
8	阿蘇観光未来創造ツアーモデル事業	観光戦略部	11,275	5,638	顔認証システムを導入し、熊本県内発着のツアーを企画。手ぶら観光の実現に向けた実証実験(モニターツアー)を実施。
			77,718	38,859	

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和4年度増加分		令和2年度 評価	令和2年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
県又はスポーツコミッションが開催・支援するスポーツ大会の参加者数及び観戦者数とアニメコンテンツに係るイベント・ツアーの参加者数 0人(R1)⇒3,000人(R4)	観光戦略部	人	0	700	0	1,300	/	1,000	/	/	/	/	/	3,000	/	④目標値の達成は5割未満	/
職場ぐるみで健康づくりに取り組む企業・団体数 1,300団体(R1)⇒1600団体(R4)	健康福祉部	団体	1,300	100	147	100	/	100	/	/	/	/	/	300	/	①目標値を達成	/
地域課題解決プロデューサー人材の活用件数 0件(R1) ⇒ 8件(R4)	企画振興部	件	0	2	2	3	/	3	/	/	/	/	/	8	/	①目標値を達成	/

推進 16

プロジェクト名(事業期間)	成長産業化に向けたくまもと型林業イノベーションプロジェクト(令和2年度～令和4年度)
プロジェクト概要	林業における省力化並びに生産性向上を図るためには、新たな技術の導入や普及が不可欠であることから、新技術を現場に実装し検証を行うとともに、新技術に触れる機会を創出することを通じて導入・普及を図る。また、森林整備の担い手確保対策の一環として、建設業など異業種との連携を後押しし、多様な林業担い手を確保する。さらに、国内外の需要拡大に向けて、地域住宅生産者グループの育成や輸出促進活動を実施する。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	林業イノベーション現場実装推進事業	農林水産部	6,421	3,210	林業事業者4者がドローンを用いた苗木運搬やコンテナ苗自動植穴機械等のスマート林業技術を導入し、現場での作業の省力化や生産性の向上に向けた取組みを実施。 ・事業主体である林業事業者自らが、新技術と従来手法を定量的に比較して、導入効果の検証を実施。 ・県と林業事業者が連携し、事業者主体周辺の事業者を対象とした研修会を開催することで、新技術の導入効果が広く現場に根付くよう普及を促進。
2	林建・異業種連携推進対策事業	農林水産部	1,228	614	林業と建設業等異業種との連携を推進し、森林整備や素材生産活動を実施する林業担い手の育成を推進するため、4地域において、連携会議の開催(7回)、現場指導(21回)、技能向上研修会(4回)を実施。
3	林建・異業種連携機械導入支援事業	農林水産部	3,133	1,567	建設業等異業種が林業へ参集することを促進するため、林業機械の導入等を支援(建設業4社が、刈払機及びチェーンソー、ウインチ、グラブプルを購入)。
4	くまもと地域材利用拡大推進事業	農林水産部	3,000	1,500	県民に木造住宅や地域材を利用したリフォーム等を選択してもらえることを推進するため、地域住宅生産者グループの各種取組みを支援。(地域住宅生産者グループ6団体が行う産地視察や完成見学会などの活動を実施)
5	くまもとの木材グローバルセールス支援事業	農林水産部	9,075	4,537	より付加価値の高い製材品輸出を推進するため、和の空間をコンセプトとしたより品質の高い製材品輸出の可能性調査を実施。(海外の規格に応じた商品開発、PRツールの作成、展示会出展などを実施)
			22,858	11,428	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和4年度増加分		令和2年度 評価	令和2年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業を通じた県内からの木材(製材品)輸出額の増加 256,000千円(H30) ⇒ 270,000千円(R4)	農林水産部	千円	256,000	4,000	41,134	5,000	/	5,000	/	/	/	/	/	14,000	/	①目標値を達成	/
事業を通じた林業分野における新技術の普及率(新技術を導入した事業者数/熊本県内の認定事業者数)の増加 0%(R1) ⇒ 15%(R4)	農林水産部	%	0	5	5	5	/	5	/	/	/	/	/	15	/	①目標値を達成	/
事業を通じた建設業等異業種との連携会社数の増加 16社(H30) ⇒ 50社(R4)	農林水産部	社/年	16	11	12	11	/	12	/	/	/	/	/	34	/	①目標値を達成	/



## 推進 17

プロジェクト名(事業期間)	若者の雇用促進による熊本へ人の流れの創出プロジェクト(令和2年度～令和4年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	プロフェッショナル人材とのマッチングによる県内企業の魅力向上、県内外の若者及び県内の保護者に向けた県内企業の理解や県内で働くことの魅力等を知る機会の創出に取り組み、進学や就職時に県外へ流出した地方創生人材のUIJターン就職による還流促進や県内就職率の向上を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	熊本を「知る」・「会う」プロジェクト事業	商工労働部	7,964	3,982	新型コロナウイルス感染症の影響により企業と学生の双方が接触できない状況のなか、新卒者の県内就職の促進を図るため、2022年卒向け高校生・大学生デュアル企業説明会をオンラインにて実施。(高校2年生向け:R3.2.19実施、大学3年生向け:R3.2.25実施)
2	プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業	商工労働部	36,360	18,180	プロフェッショナル人材獲得を支援するため、拠点の体制を強化(人員を増員)することで、前年度を上回る289件の県内企業を訪問し、様々な経営課題に対するアドバイスや情報提供を行うことにより、副業人材3件を含む39件のプロフェッショナル人材の採用が決定。
3	プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業 (拡充分=補助率10/10)	商工労働部	6,300	6,300	プロフェッショナル人材獲得を支援するため、拠点の体制を強化(人員を増員)することで、前年度を上回る289件の県内企業を訪問し、様々な経営課題に対するアドバイスや情報提供を行うことにより、副業人材3件を含む39件のプロフェッショナル人材の採用が決定。
4	建設産業新3K推進プロジェクト	土木部	23,018	11,509	建設産業の魅力発信のため、災害時の建設産業の活躍記録動画を制作、高校生向けガイダンスをオンラインで実施(約300名参加)。その他、人材確保・育成のため、建設業関係団体・企業の資格取得や働き方改革を支援。
5	熊本を支える産業人材育成事業	教育庁	2,753	1,330	専門高校生インターンシップ充実事業では、36人の生徒が普段の学びにつながるのある県内事業所13社(うち宿泊型3事業所)でインターンシップを実施。プロジェクト学習支援事業では、専門高校11校が17件の商品開発や、イベント企画、地域の魅力発信等を実施。県内企業の理解促進事業では、生徒160人、保護者8人、教職員15人が県内事業所9社を訪問し、企業見学を通して県内事業所の魅力を発信。
			76,394	41,301	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和4年度増加分		令和2年度 評価	令和2年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
熊本県UIJターン就職支援センターを活用して熊本県内に就職した人数 0人(R1) ⇒ 300人(R4)	商工労働部	人	0	80	72	100		120						300		②目標値の7割以上を達成	
地域企業に対する副業・兼業も含めた人材マッチング件数 15件/年(R1) ⇒ 60件/3年(R4)	商工労働部	件	82	15	39	20		25						60		①目標値を達成	
事業を通じた専門高校生の県内就職率の増加 59.7%(H30) ⇒ 63.0%(R4)	教育庁	%	59.7	0.9	3.2	1.1		1.3						3.3		①目標値を達成	

推進 18

プロジェクト名(事業期間)	熊本版 第4次産業革命に向けた先端技術導入を軸とした地場産業成長プロジェクト(令和2年度～令和4年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	県内企業の先端技術(=IoT、AI、ロボット等を中心とした第4次産業革命技術)導入を支援することで、生産性の向上による産業界の人手不足解消や、収益性の向上による経済的波及効果の創出による地域経済の活性化を実現する。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	第4次産業革命推進事業	商工労働部	47,310	22,892	地域の事業者等への高い経済的効果が期待できる地域経済牽引事業のうち、AI・IoTを活用した次世代水産養殖システムの協創、スマートファクトリーシステムの開発等計6件に対して、必要な設備投資及び商品開発費を支援。 普及啓発のためのセミナーやITベンダーとのマッチング相談会を開催したほか、専門家による現場改善等の伴走支援を実施するなど、各企業の状況に応じて第4次産業革命技術の導入に係る技術的支援した。また財政的な支援をとして、IoT等導入計画に係る補助を実施。
2	デジタル実装支援にかかるデジタルものづくり中核人材育成事業	商工労働部	5,480	2,657	オンラインや個別研修といった三密を避ける工夫をしながら技術研修を実施し、DX技術導入を支える人材を育成。 19セミナー(集合3、オンライン3、個別9、訪問4) 参加者124名(集合39、オンライン34、個別17、訪問34)
3	県外IT企業・コンテンツ関連企業等ネットワーク構築事業	商工労働部	52,595	25,739	熊本の立地環境の調査・分析や戦略の設計、PRのためのセミナー等を開催するとともに、情報発信ツールとしてITプラットフォーム(サイト)を作成し、紹介記事・動画等を掲載。また、市町村の課題解決の検討を県内外のIT企業とともに行い、地域経済の活性化と関与企業の県内立地を実現。
			105,385	51,289	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和4年度増加分		令和2年度 評価	令和2年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
地域経済牽引事業における支援対象となる設備投資に対する支援事業者の付加価値額の増加額 0円(R1) ⇒ 30,000千円(R4)	商工労働部	千円	0	0	集計中 (R3.12)	15,000		15,000								⑤実績値集計中	
IoT、AI等の先端技術を活用した県内企業の新たな取組件数 0件(R1) ⇒ 30件(R4)	商工労働部	件	0	5	7	10		15								①目標値を達成	
県内企業と県外企業を繋ぐITプラットフォームの登録企業数 0社(R1) ⇒ 100社(R4)	商工労働部	社	0	20	30	40		40								①目標値を達成	

推進 19

プロジェクト名(事業期間)	更なる高みへ！「農業」を軸としたビジネスモデル展開プロジェクト(令和2年度～令和4年度)
プロジェクト概要	前身事業で開発した商品を更にグレードアップさせて新たな市場開拓につなげたり、これまで支援してきた地域とは別の地域や視点で実施する、新規性や地域経済への波及効果の高い取組みについて支援を行うことで、本県の強みである「農業」を軸として、熊本の創造的復興と地方創生を加速する。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	地域未来モデル事業(農林水産分野)	農林水産部	0	0	新型コロナウイルス感染症の影響により、海外からの資材の納品が遅れたことにより翌年度へ繰越。
2	異業種連携！6次産業化レベルアップ事業	農林水産部	0	0	新型コロナウイルス感染症の影響により事業未実施。
3	6次産業化総合支援強化事業	農林水産部	1,995	997	セミナーの開催や事業者への個別指導、販路開拓に向けた農産物需給調査などを実施。
			1,995	997	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和4年度増加分		令和2年度 評価	令和2年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業実施による支援事業者の新規雇用者数 0人(R1) ⇒ 35人(R4)	農林水産部	人	0	-	-	15		20						35		⑥令和3年度以降にKPIを設定	
事業実施による観光拠点への来客数 0人(R1) ⇒ 800,000人(R4)	農林水産部	人	0	-	-	300,000		500,000						800,000		⑥令和3年度以降にKPIを設定	
地域経済牽引事業における支援の対象となる設備投資に対する支援事業者と支援事業者との取引額が多い過半の域内の事業者の売上額、取引額又は給与支払額の合計額の増加額 0千円(R1) ⇒ 1,800,000千円(R4)	農林水産部	千円	0	-	-	800,000		1,000,000						1,800,000		⑥令和3年度以降にKPIを設定	

推進 20

プロジェクト名(事業期間)	熊本県女性新規就業支援事業(令和2年度～令和4年度)
プロジェクト概要	就業を希望しながら、就職活動を行っていない女性を対象に、情報提供や就業意欲を高めるセミナー等を行った上で、職場環境改善や業務の切り出しに取り組む企業とマッチングを行い、女性の新規就業など社会での活躍につなげる。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	女性・中高年齢者就業支援事業	商工労働部	0	0	新型コロナウイルス感染症等の影響により、事業の集約化を検討し、本事業中止決定による事業取下げ。
			0	0	

KPI	指標担当部局	単位	事業	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和元年度～令和6年度増加分		令和2年度 評価	令和2年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
本事業により新規就業が実現した者の数(新規就業者数) 0人(R1) ⇒ 700人(R6)	商工労働部	人	0	100	/	100	/	150	/	150	/	200	/	700	/	/	/

推進 21

プロジェクト名(事業期間)	未来へつなげるくまもと農業の人材確保・育成プロジェクト(令和2年度～令和4年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	本県の強みである農業の持続的、安定的な発展のため、くまもと農業を担う人材の確保・育成を図るとともに、熊本への人の流れを加速化させることで「競争力のあるくまもと農業」の実現を目指す。その実現に向け、円滑な経営継承の支援体制構築や、就農を目指す者のすそ野拡大など、将来にわたって新規就農者(人財)を安定的に確保する取組みを推進する。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	くまもと農のひとづくり事業	農林水産部	11,675	5,837	農業者の能力等の向上のため、県内の意欲ある農業者などを対象とした学びの場として、農業研究センター、県立大学等、様々な機関が連携し、農業技術等のほか、農福連携、海外人材育成に関する講座を開催(24講座、726人受講)。更に、農業経営者を育成するため、就農5年以上の農家等を対象に、全国の優良経営農家等を講師として招き、経営理念や販売戦略等を学ぶ講座を開催(受講生15人、講座数10回、個別相談3回)。
2	熊本型新規就農総合支援事業	農林水産部	9,051	4,525	就農希望者が就農する前に行う、農業実践研修を充実させるため、研修受入農家などを対象にした資質向上を図る研修会や、認定研修機関の研修受入体制整備を支援し、研修生85人を指導。
3	くまもと農業の継承支援事業	農林水産部	18,223	9,053	県域における農業の経営継承を推進するため、県農業会議が行った取り組み体制の整備や、継承マニュアルの作成等を支援。市町村に対しては、農業者の情報収集に係るアンケート調査やリスト化に係る経費を支援。経営継承希望者と経営移譲希望者のマッチング促進により、資産(中古ハウスなど)移譲を触発。認定研修機関が認定新規就農者に貸し付ける中古ハウスなどの補修費などを支援。
4	ひと・うし・しごとづくりステップアップ事業	農林水産部	14,575	6,402	地域において空き牛舎などの継承により新規就農者が低コストで就農できる体制構築を図るため、新規就農時における空き牛舎の補改修や家畜導入等に係る初次的経費を支援。酪農業において、地域の空き牛舎継承による新規就農1戸を実現。
			53,523	25,818	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和4年度増加分		令和2年度 評価	令和2年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業を通じた新規就農者数 0人(R1) ⇒ 250人(R4)	農林水産部	人	0	60	72	80	/	110	/	/	/	/	/	250	/	①目標値を達成	/
事業を通じた経営継承マッチング締結件数 0件(R1) ⇒ 30件(R4)	農林水産部	件	0	5	5	10	/	15	/	/	/	/	/	30	/	①目標値を達成	/
県新規就農支援センターの就農相談延べ件数 539件(R1) ⇒ 624件(R4)	農林水産部	件	539	25	348	30	/	30	/	/	/	/	/	85	/	①目標値を達成	/

推進 繰越分1

プロジェクト名(事業期間)	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムによる交流人口拡大プロジェクト（平成30年度～令和2年度）
プロジェクト概要	地震断層等の震災遺構を巡る回廊型フィールドミュージアムを実現し、熊本地震の記憶や経験、教訓を国内外に発信することで防災・減災の取組に貢献する。さらに回廊ルートを新たな観光資源と捉え、県内の観光地とつなぎ巡ることで、交流人口の拡大を図るとともに、地域産業の振興や地域の活性化を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	熊本地震震災ミュージアム具体化推進事業	観光戦略部	58,555	29,278	震災ミュージアム中核拠点(旧東海大学阿蘇キャンパス)内の体験・展示施設の基本設計業務を実施。(業務期間:R2.3月末～R3.2月末)。
			58,555	29,278	

推進 繰越分2

プロジェクト名(事業期間)	くまもと県南フードバレー 地域農産物活用拠点強化プロジェクト（平成30年度～令和2年度）
プロジェクト概要	県南地域の農産物に対するBtoB市場を中心としたニーズ獲得に向け、地域商社を活用した販路開拓や、高い処理能力・機能を持つ農産物の一次加工等を行う地域拠点整備を推進し、食産業の集積（フードバレーの形成）による地方創生を推進する。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	フードバレー地域農産物加工施設整備支援事業（一次加工所等整備）	農林水産部	100,000	50,000	地域経済牽引事業者による、カット野菜、カットフルーツ等の製造に関する設備及び施設の整備を1件支援。
			100,000	50,000	

推進 繰越分3

プロジェクト名(事業期間)	中山間地域におけるしごと創生・好循環プロジェクト
プロジェクト概要	農業と林業の「収入の柱づくり」を通じた「担い手づくり」、竹材等の地域資源を活かしたしごと創生による「集落の維持・活性化」、「阿蘇草原再生の取り組み」を一体的・総合的に支援し、持続可能な中山間地域を実現。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	ひと・うし・しごとづくり事業	農林水産部	7,542	3,771	畜産業のリーダーとなる人材の確保・育成に向けた取組みを推進するため、地域の農業団体が就農希望者を対象とした研修受入体制の構築を図るため、就農準備研修施設の整備に必要な経費を支援。地域農協による肉用牛経営への就農に向けた研修施設を1箇所整備。
			7,542	3,771	

単県 1

事業名	畜産経営復旧緊急支援事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	令和2年7月豪雨において畜舎等に甚大な被害を受けた畜産農家が行う経営再建に向けた取組みを緊急的に支援することで、被災農家の将来にわたる経営の安定を図り、本県畜産業の持続的な発展を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		令和2年度 事業実績
			総事業費(千円)	うち企業版 ふるさと納税 (千円)	
1	畜産経営復旧緊急支援事業	農林水産部	3,272	550	令和2年7月豪雨により被害を受け、営農活動に甚大な影響が生じた畜産農家の経営再建を図るため、死亡・廃用家畜等の適正処分や家畜の再導入への支援及び緊急的な畜舎消毒を実施した。
			3,272	550	





地方創生拠点整備交付金事業  
(平成28年度～令和元年度実施分)

交付対象事業(実施年度)	平成28年度補正地方創生拠点整備交付金(第1回)			
交付対象事業(プロジェクト名)	産業技術拠点高度化プロジェクト			
事業概要	本県産業振興戦略の要、技術拠点である産業技術センターを復旧・機能強化し、自然共生型産業などニッチトップ企業創出と高精度3Dものづくり基盤の強化による地方創生を推進。			
実施期間	平成29年1月～平成31年3月			
事業実績	センター施設設備の復旧・機能強化のための改築・増築工事を実施。ニッチトップ技術の創出支援のため、米ゲルの用途拡大を目的とした製品試作と保存技術の研究開発、多糖ナノファイバーの医工連携に関する用途開発を実施。また、H29年度に導入した3Dプリンタシステムを活用し、IoT技術や3Dものづくり技術の地域企業への普及及び人材育成を図るための技術講習会を開催。			
担当部局	商工労働部	実績額	総事業費(千円)	326,309
			うち交付金	163,154

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成28年度増加分		令和29年度増加分		平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成28年度～令和2年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
ニッチトップ事業創出に伴う県内企業雇用数 0人(H28)→113人(H32)	商工労働部	人	0	-	-	3	4	7	5	17	10	86	38	113	57	④目標値の達成は5割未満	③目標値の5割以上を達成
ニッチトップ事業創出関連参画企業数及び3Dものづくりシステムを活用した新商品開発企業数(社) 60社(H28)→647社(H32)	商工労働部	社	60	-	-	98	98	124	78	140	108	165	111	527	395	③目標値の5割以上を達成	②目標値の7割以上を達成
センター受託事業収入(千円) 30,820千円(H28)→48,265千円(H32)	商工労働部	千円	30,820	-	-	6700	11449	3,266	14,514	3,572	-7,849	3,907	-17,003	17,445	1,111	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満

拠点 2

交付対象事業(実施年度)	平成28年度補正地方創生拠点整備交付金(第1回)			
交付対象事業(プロジェクト名)	県産材利用促進のための研究開発・技術支援の拠点強化プロジェクト			
事業概要	豊富な森林資源及び先行技術を活用して直材(A材)の需要を拡大し、木材産業や森林所有者が裨益する「林業の成長産業化・木材産業の活性化」による地方創生を推進。			
実施期間	平成29年1月～平成30年7月			
事業実績	先行技術を活用した公共建築物の木造化に必要な材料性能を評価する実大曲げ試験施設を整備し、性能評価向上のための研究に着手。また、直材の需要拡大に不可欠な高品質の製品製造を研究するための天然乾燥・養生施設を整備。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	257,891
			うち交付金	128,945

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成28年度増加分		令和29年度増加分		平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成28年度～令和2年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
接着重ね材等の新製品の売上額 225百万円/年(H28) → 360百万円/年(H32)	農林水産部	百万円	225.00	-	-	-	-	45	145	45	13	45	-347	135	-189	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
大断面・長尺乾燥製材品の売上額 373百万円/年(H28) → 594百万円/年(H32)	農林水産部	百万円	372.75	-	-	-7.35	0.00	81.94	-13.63	75.27	144.00	71.36	-113.19	221.22	17.18	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
製品開発による森林所有者の丸太生産による収入額 276百万円/年(H28) → 434百万円/年(H32)	農林水産部	百万円	275.63	-	-	-6.13	0.00	58.11	-9.45	54.84	98.00	51.57	-72.52	158.39	16.03	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満

拠点 3

交付対象事業(実施年度)	平成28年度補正地方創生拠点整備交付金(第1回)			
交付対象事業(プロジェクト名)	攻めの中山間地域のための新たな茶業モデル拠点形成プロジェクト ※平成29年度繰越分			
事業概要	①ICT技術の導入による効率的・低コストな茶園管理、②製造機器更新による製茶コストの低減、③多様化するニーズを捉えた茶種生産、④生産・製造拠点の集約化の推進によって、中山間地域の持続可能な茶業経営を実現。			
実施期間	平成29年1月～平成30年11月			
事業実績	農家所得の向上を図り、県産茶業の持続的発展を実現するため、攻めの中山間地域農業のための新たな茶業モデル拠点構築として、ハイブリッド製茶ライン及び専用製茶工場の施設整備を完了。また、センシング技術を活用した生育診断研究に着手。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	240,122
			うち交付金	120,061

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成28年度増加分		令和29年度増加分		平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成28年度～令和2年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
単位収量増加による所得向上 180百万円増(H32)	農林水産部	百万円	0	-	-	-	-	30	0	60	0	90	0	180	0	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
荒茶販売量増加による所得向上 80百万円増(H32)	農林水産部	百万円	0	-	-	-	-	3.6	0.8	25.6	2.9	50.4	0.3	79.6	4.0	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
茶製造コストの減少による所得向上 18百万円削減(H32)	農林水産部	百万円	0	-	-	-	-	-	0	6.0	0.0	12.0	0.0	18.0	0.0	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満

拠点 4

交付対象事業(実施年度)	平成28年度補正地方創生拠点整備交付金(第1回)			
交付対象事業(プロジェクト名)	農業・農村活性化のための担い手育成・交流拠点整備プロジェクト ※平成29年度繰越分			
事業概要	全国に先駆けた官民協働の農業研修体制を活かし、農福連携の促進、農業の観光ビジネス促進等による地方創生人材(中山間地農業・農村を支える人材、国際人材)の育成、外国人農業実習生等への研修機会の提供による地方創生を推進。			
実施期間	平成29年1月～平成31年3月			
事業実績	次代の本県農業を担う優れた農業経営者の養成を図るため、新たに農業大学校研修交流館を建設し、H31年4月から利用を開始。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	650,456
			うち交付金	325,227

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成28年度増加分		令和29年度増加分		平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成28年度～令和2年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
受講した外国人農業技能実習生、海外研修生等の数 0人(H28)→140人(H32)	農林水産部	人	0	-	-	20	0	20	65	50	36	50	0	140	101	④目標値の達成は5割未満	②目標値の7割以上を達成
農福連携講座を受講した指導者が属する農業法人等における障害者の雇用数 0人(H28)→100人(H32)	農林水産部	人	0	-	-	-	-	-	-	50	37	50	集計中(R3.10)	100	集計中(R3.10)	⑤実績値集計中	⑤実績値集計中
新ビジネス創出による農家所得の増加 0万円(H28)→2,000万円(H32)	農林水産部	万円	0	-	-	-	-	-	-	700	663.00	1,300	集計中(R3.10)	2,000	集計中(R3.10)	⑤実績値集計中	⑤実績値集計中

交付対象事業(実施年度)	平成28年度補正地方創生拠点整備交付金(第1回)			
交付対象事業(プロジェクト名)	「旅客ターミナル」を核とするみなと活性化プロジェクト ※平成29年度繰越分			
事業概要	災害復旧と併せた「リノベーション」により観光・物産・交流機能の強化を図り、ターミナルビルの「集客力」及び「収益力」を高め、しごと創生、交流人口の拡大による地方創生を推進。			
実施期間	平成29年1月～平成31年3月			
事業実績	熊本地震により被災した熊本港旅客ターミナルの災害復旧を完了。また、観光・物産・交流の拠点機能の拡充・強化のため、待合所の情報発信スペースの改修、子供の遊び場、くまモン交流スペース等のリノベーションを実施。			
担当部局	土木部	実績額	総事業費(千円)	190,911
			うち交付金	80,000

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成28年度増加分		令和29年度増加分		平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成28年度～令和2年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
フェリー施設全体の売上高の増加 130百万円/年(H27)→282百万円/年(H32)	土木部	百万円/年	130	-	-	-	-	152.91	-15	0	-12	0	-54.00	153	-81.00	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
ターミナルを目的に来訪する利用者の増加 5.4万人(H28)→7.2万人(H32)	土木部	万人	5.4	-	-	-	-	0.6	-0.9	0.6	-0.5	0.6	-2.2	1.8	-3.6	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
ターミナルにある物産館・カフェ等における雇用者数の増加 12人(H28)→18人(H32)	土木部	人	12	-	-	-	-	6	0	0	0	0	-1	6	-1	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満

拠点 6

交付対象事業(実施年度)	平成28年度補正地方創生拠点整備交付金(第1回)			
交付対象事業(プロジェクト名)	クロマグロ養殖研究機能の強化プロジェクト			
事業概要	「クロマグロ種苗生産技術」の確立を図り、官民協働によるクロマグロの分業体制(くまもと型養殖モデル)で、養殖業の経営安定を図るとともに、クロマグロの輸出拡大や天草地域の観光振興を推進。			
実施期間	平成29年1月～平成31年3月			
事業実績	海水ろ過施設の整備を行い、クロマグロの種苗生産試験を実施し、生産した人工種苗を用いた養殖現場での中間育成試験を実施。クロマグロ種苗生産・中間育成技術情報交換会を行い、クロマグロ養殖を推進する人材の育成を実施。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	60,254
			うち交付金	30,127

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成28年度増加分		令和29年度増加分		平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成28年度～令和2年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
「くまもと型養殖モデル」における稚魚、中間魚、養殖魚の販売収入額 0千円(H28)→274,450千円(H32)	農林水産部	千円	0	-	-	-	-	-	-	-	-	50,650	0	50,650	0	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
「くまもと型養殖モデル」(分業式養殖)に参画する業者数 0業者(H28)→3業者(H32)	農林水産部	業者	0	-	-	1	1	1	0	1	1	3	1	6	3	④目標値の達成は5割未満	③目標値の5割以上を達成
クロマグロ受精卵から全長5cmまでのクロマグロ稚魚生残数 0尾(H28)→500尾(H32) ⇒ 5000尾(平成35年3月)	農林水産部	尾	0	-	-	100	1367	300	2,022	500	1,555	500	2,617	1,400	7,561	①目標値を達成	①目標値を達成

拠点 7

交付対象事業(実施年度)	平成28年度補正地方創生拠点整備交付金(第1回)			
交付対象事業(プロジェクト名)	次世代型平坦地域農業ローカルイノベーション拠点形成プロジェクト ※平成29年度繰越分			
事業概要	ICT技術を活用した次世代型施設園芸技術を確立し、生産者の経験・勘に頼る部分が大きかった施設園芸の低コスト化、品質向上・収量増加、出荷予測などにより本県農業の競争力強化を図り、農業を基軸とした地方創生を推進。			
実施期間	平成29年1月～平成30年12月			
事業実績	本県農業の持続的発展のためのICT技術等を活用した次世代型施設園芸技術の研究・開発を行い、販売額の増加を図るため、複合環境施設の整備を完了。促成トマトの栽培研究を開始するとともに、センシング技術を活用した生育診断研究に着手。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	58,302
			うち交付金	29,150

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成28年度増加分		令和29年度増加分		平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成28年度～令和2年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
大規模施設野菜(促成トマト)の単位収量増加による販売額増加 1,722百万円増(H32)	農林水産部	百万円	43,522.5	-	-	-	-	287	463	574	307	861	333	1,722	1,103	④目標値の達成は5割未満	③目標値の5割以上を達成
大規模施設野菜(促成トマト)の販売単価上昇による販売額増加 185百万円増(H32)	農林水産部	百万円	43,522.5	-	-	-	-	-	-	62	0	123	0	185	0	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
大規模施設野菜(促成ナス)の単位収量増加による販売額増加 106百万円増(H32)	農林水産部	百万円	8,863.8	-	-	-	-	-	-	-	-	106	91.00	106	91.00	②目標値の7割以上を達成	②目標値の7割以上を達成

拠点 8

交付対象事業(実施年度)	平成28年度補正地方創生拠点整備交付金(第1回)			
交付対象事業(プロジェクト名)	中山間地域における果樹農業の好循環拠点形成プロジェクト			
事業概要	果樹の新品種や新技術の研究・開発・普及等の体制を強化し、中山間地域における果樹農業の好循環の形成による地域の活性化を図る。			
実施期間	平成29年1月～平成31年3月			
事業実績	果樹の新品種や新技術の研究・開発等を強化するための施設整備を完了。遺伝子活用等によるカンキツ品種の育成、気候変動に対応した生産技術の開発、品質維持・向上のための貯蔵技術の開発、新たな病害虫の高度解析による早期の同定と効果的対策技術の開発するための試験研究を実施。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	80,589
			うち交付金	40,294

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成28年度増加分		令和29年度増加分		平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成28年度～令和2年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
カンキツ(温州ミカン)の平均単価上昇による販売額増加 202.8百万円増(H32)	農林水産部	百万円	9,072.0	-	-	-	-	45.3	454.0	67.5	90.0	90.0	136.4	202.8	680.4	①目標値を達成	①目標値を達成
カンキツ(デコボン)の単位収量増加による販売額増加 129.6百万円増(H32)	農林水産部	百万円	9,936.0	-	-	-	-	-	-	43.2	110.0	86.4	70.6	129.6	180.6	②目標値の7割以上を達成	①目標値を達成
日持ち性向上に伴う落葉果樹の平均単価上昇による販売額増加 8.4百万円増(H32)	農林水産部	百万円	214.2	-	-	-	-	1.4	1.5	2.8	3.2	4.2	7.1	8.4	11.8	①目標値を達成	①目標値を達成

交付対象事業(実施年度)	平成28年度補正地方創生拠点整備交付金(第1回)			
交付対象事業(プロジェクト名)	阿蘇の景観維持のための高原農業モデル拠点形成プロジェクト			
事業概要	熊本県高原農業研究所における阿蘇の景観維持のための野草堆肥の活用によるブランド化、IoT活用による低コスト・省力化、新たな作物導入により、農業所得を向上し、阿蘇地域の景観維持を担う農業・農村の担い手を確保。			
実施期間	平成29年1月～平成31年9月			
事業実績	高冷地域の涼やかな気候を生かした新品種の導入及び良食味米の安定生産技術を開発し、販売額の増加を図るため、穀物乾燥・貯蔵施設等の整備を完了。水稻やエゴマ等の試験栽培を開始するとともに、分析装置を活用した良食味米研究に着手。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	79,932
			うち交付金	39,966

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成28年度増加分		令和29年度増加分		平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成28年度～令和2年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
夏秋トマトの単位収量増加による販売額増加213百万円増(H32)	農林水産部	百万円	9,886.8	-	-	-	-	-	-	70.90	0.00	141.90	0.00	212.80	0.00	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
米の新品種導入に伴う単位収量増加による販売額増加33百万円増(H32)	農林水産部	百万円	2,457	-	-	-	-	5.50	1.20	10.90	111.00	16.40	7.30	32.80	19.50	④目標値の達成は5割未満	③目標値の5割以上を達成
新品目(エゴマ)導入による販売額増加10百万円増(H32)	農林水産部	百万円	0	-	-	-	-	-	-	0.50	1.20	10.00	12.60	10.50	13.80	①目標値を達成	①目標値を達成

拠点 10

交付対象事業(実施年度)	平成28年度補正地方創生拠点整備交付金(第2回)			
交付対象事業(プロジェクト名)	熊本城二の丸に佇む熊本県立美術館機能強化プロジェクト～熊本城復元と合わせた美術館の機能強化による交流人口の拡大～			
事業概要	老朽化した施設の改修に加え、リノベーション等による良好な展示・保管環境の確保、住民の文化芸術活動の場としての拠点性向上、加藤・細川文化や装飾古墳等の独自コンテンツを活かした観光交流機能の強化で、交流人口の拡大を図る。			
実施期間	平成29年6月～平成30年3月			
事業実績	良好な展示・保管環境の確保等を図るため、一時保管所の新設や美術品収蔵庫・展示室・文化交流室・ミュージアムショップ・正面玄関・喫茶室・装飾古墳室のリノベーションや模様替等を実施。			
担当部局	教育庁	実績額	総事業費(千円)	301,833
			うち交付金	58,098

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	令和29年度増加分		平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成29年度～令和3年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
県立美術館本館の入館者数5.0万人(H28)→26.0万人(H33)	教育庁	万人	5.0	9.3	5.8	0.8	9.2	1.6	-7.3	0.8	-8.6	8.5	/	21.0	/	④目標値の達成は5割未満	/
県立美術館本館における施設全体の売上高の増加(入館料、物産・飲食施設の収入等)12,000千円/年(H28)→61,100千円/年(H33)	教育庁	千円	12,000	6,500	13,757	16,985	9,730	3,760	-13,595	1,880	-33,052	19,975	/	49,100	/	④目標値の達成は5割未満	/



拠点 11

交付対象事業(実施年度)	平成29年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	畜産新技術導入による生産性・競争力強化プロジェクト			
事業概要	畜産の生産性向上のための新技術と、競争力強化のための各種技術を習得できる教育施設を農業大学校内に整備する。これらの技術を習得した担い手が、県内各地域で生産性革命を起こし、担い手不足や購入飼料費の高騰等で閉塞的になっている地域の畜産生産性を向上させ、地域経済の活性化を図り地方創生を推進。			
実施期間	平成30年3月～令和元年10月			
事業実績	H30年度は、次代の本県農業を担う優れた農業経営者の育成を図るため、新たなスマート畜舎、発酵TMR製造施設等の実施設計を完了し、本体工事に着手。 R1年度は、畜産の生産性向上と競争力強化のため、農業大学校内にスマート牛舎、TMR調製施設及び発情発見分娩管理システムを整備。これらを活用し、学生の各種技術の習得を促進。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	367,364
			うち交付金	102,423

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
本校畜産学科卒業者が従事する畜産経営体の所得向上 100%(H29)→103%(H34)	農林水産部	%	100	-	-	-	-	1	0	1	/	1	/	3	/	④目標値の達成は5割未満	/
発情発見分娩管理システム導入による繁殖成績(毎年子牛を生む雌の割合)向上 46%(H29)→50%(H34)	農林水産部	%	46	-	-	1	1	1	3	1	/	1	/	4	/	①目標値を達成	/
農業大学校における畜産物加工レシピア作成数 0点(H29)→7点(H34までの累計)	農林水産部	点	0	1	1	1	1	1	2	2	/	2	/	7	/	①目標値を達成	/

拠点 12

交付対象事業(実施年度)	平成29年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	海藻増養殖研究機能強化による海藻の生産性革命プロジェクト			
事業概要	海藻増養殖研究施設及び研修機能を熊本県水産研究センター内に整備し、海藻の新たな増養殖技術開発と次世代を担う優れた人材の育成を強化することで、地域漁業者の生産性革命を起こし、地域経済の活性化を図り地方創生を推進。			
実施期間	平成30年3月～平成31年3月			
事業実績	海藻の新たな増養殖技術開発と漁業者に海藻に関する実地技術研修を行い、優れた人材の育成を図るため、海藻研究施設、付帯研究設備、研修用水槽等の環境教育設備を整備。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	136,025
			うち交付金	63,517

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
採藻漁業及び海藻養殖業のうち、対象とする主要海藻4種の生産額 250百万円(H28)→300百万円(H34)	農林水産部	百万円	250	-	-	10	-90	20	-80	30	/	50	/	110	/	④目標値の達成は5割未満	/
本研究施設で海藻を飼育・培養ができる実地技術研修を受講する漁業者数 0人(H28)→800人(H34までの累計)	農林水産部	人	0	-	-	200	243	200	172	200	/	200	/	800	/	②目標値の7割以上を達成	/
本研究施設で行う新たな海藻類増養殖技術開発数 0件(H28)⇒24件(H34までの累計)	農林水産部	件	0	-	-	3	5	7	6	7	/	7	/	24	/	②目標値の7割以上を達成	/

交付対象事業(実施年度)	平成29年度補正地方創生拠点整備交付金				
交付対象事業(プロジェクト名)	林業生産性向上のための研修拠点強化プロジェクト				
事業概要	林業の技術力・生産性向上のための技術を習得できる教育施設を林業研究所内に整備し、これらの技術を習得した人材が、豊富な森林資源の有効活用を促進し、林業の成長産業化による地方創生を推進。				
実施期間	平成30年3月～令和元年9月				
事業実績	H30年度は、林業従事者の林業生産性向上を図るため、林業従事者等に対する研修や、林業研究・研修センターにおける研究成果の情報発信の場として整備する研修館等の実施設計を完了し、工事に着手。併せて、伐倒安全訓練設備導入及び機械運転等実技スペースの整備を開始。 R1年度は、林業生産性向上に資する研修拠点強化整備のため、林業技術研修施設等の建築工事及び伐倒安全訓練設備購入が完了し、R1年10月18日から施設運営を開始。				
担当部局	農林水産部	実績額		総事業費(千円)	641,926
				うち交付金	207,765

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
研修を受講した県内認定事業体における素材生産の労働生産性 5.1m <sup>3</sup> /人日(H29)→7.1m <sup>3</sup> /人日(H34)	農林水産部	m <sup>3</sup> /人日	5.1	-	-	0.1	0.22	0.40	集計中 (R3.9)	0.60	/	0.90	/	2.00	/	⑤実績値集計中	/
研修を受講した県内認定事業体の素材生産に係る従業者数 578人(H29)→640人(H34)	農林水産部	人	578	-	-	-	-	10	集計中 (R3.9)	30	/	22	/	62.00	/	⑤実績値集計中	/
研修を受講した県内認定事業体の素材生産量 558千m <sup>3</sup> /年(H29)→860千m <sup>3</sup> /年(H34)	農林水産部	千m <sup>3</sup> /年	558	-	-	-	-	160.00	集計中 (R3.9)	40.00	/	102.00	/	302.00	/	⑤実績値集計中	/

拠点 14

交付対象事業(実施年度)	平成29年度補正地方創生拠点整備交付金				
交付対象事業(プロジェクト名)	阿蘇草原を活用した畜産農家の放牧・飼養管理生産性革命プロジェクト				
事業概要	ICT、IoT技術を活用した肉用牛等生産技術の開発やドローン等による画像解析技術を利用した草地の管理方式、並びに畜産技術を有する人材育成により、草原を活用した畜産の生産性を向上させ、阿蘇の草原再生と地方創生を推進。				
実施期間	平成30年3月～令和元年11月				
事業実績	H30年度は、研究拠点整備により、肉用牛生産の技術開発並びに人材育成を図るため、施設の実施設計及び既存施設の解体を完了し、リモート家畜管理施設及び肉用牛等繁殖技術研究施設の工事に着手。 R1年度は、肉用牛生産の技術開発並びに人材育成を図るため、リモート家畜管理施設及び肉用牛等繁殖技術研究施設の整備を完了。ICT、IoT技術を活用した肉用牛生産及び草地管理の試験研究に着手し、研修の受け入れを開始。(R2)ICT、IoT技術を活用した肉用牛生産及び草地管理の試験研究が順調に進捗し、研修の受け入れは予定以上に実施。				
担当部局	農林水産部	実績額		総事業費(千円)	350,305
				うち交付金	89,930

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値				
新たな放牧実施による経費削減効果 0千円(H26)→31,318千円(H34までの累計)	農林水産部	千円	0	-	-	3,773	75,468	3,773	集計中 (R4.1)	11,320	/	12,452	/	31,318	/	⑤実績値集計中	/
放牧管理及び繁殖管理の省力化技術の開発数(成果情報等) 0件(H26)→2件(H34までの累計)	農林水産部	件	0	-	-	-	-	-	1	1	/	1	/	2	/	⑥令和3年度以降にKPIを設定	/
繁殖・放牧管理技術等の研修受講者数 0人(H26)→50人(H34までの累計)	農林水産部	人	0	-	-	10	15	10.00	62.00	15.00	/	15.00	/	50	/	①目標値を達成	/

拠点 15

交付対象事業(実施年度)	平成29年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	先端技術を活用した畜産の生産性革命プロジェクト			
事業概要	先端技術を活用した育種改良、家畜飼養管理技術の開発等を行う拠点施設の整備を図り、ICTを活用した酪農経営、輸入豚肉に対抗した国産豚肉生産、輸出を目指した地鶏生産等の生産性革命による地方創生を推進。			
実施期間	平成30年3月～令和元年12月			
事業実績	H30年度は、研究拠点整備により、省力・低コスト生産、経営の安定、ブランド力の強化を図るため、各施設等の実施設計を完了し、養豚の人工授精研究施設の整備を完了。その他の酪農施設等については、本体工事に着手。 R1年度は、省力・低コスト生産、経営の安定、ブランド力の強化を図るため、各施設及び機器の整備を完了。鶏の遺伝子育種や給与飼料体系、豚の育種改良、搾乳ロボットや各種センサーのICTをフル活用した飼養管理技術確立等に関する試験研究に着手。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	1,326,998
			うち交付金	354,319

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
県内天草大王の単価及び出荷羽数増による販売額 204,000千円(H28)→402,900千円(H34)	農林水産部	千円	204,000	-	-	56,100	0	47,600	0	47,600	/	47,600	/	198,900	/	④目標値の達成は5割未満	/
県内養豚農家における県有高能力デュロック種豚の人工授精用精液利用量 100本(H28)→3,100本(H34)	農林水産部	本	100	-	-	200	0	600	0	200	/	2,000	/	3,000	/	④目標値の達成は5割未満	/
ICTを活用した搾乳・飼養管理技術の開発数 (熊本県農業研究成果情報) 0件(H27)→4件(H34までの累計)	農林水産部	件	0	-	-	-	-	1.00	0.00	1.00	/	2.00	/	4	/	④目標値の達成は5割未満	/

拠点 16

交付対象事業(実施年度)	平成29年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	長期貯蔵による農産物の生産性向上・高付加価値化拠点形成プロジェクト			
事業概要	農産物の長期貯蔵技術確立のための施設をアグリシステム総合研究所に整備し、販売チャネルの拡大や安定出荷の生産性革命により農家所得を向上させ、地域経済の活性化を図り地方創生を推進。			
実施期間	平成30年3月～令和2年3月			
事業実績	H30年度は、生産者数の減少が続いている野菜類について、販売チャネルの拡大と安定出荷により、輸出増加を図るため、長期貯蔵技術を研究する施設の実施設計を完了。 R1年度は、販売チャネルの拡大と安定出荷により、輸出増加を図るため、農産物の長期貯蔵を可能にするための長期貯蔵施設等の整備を完了。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	416,102
			うち交付金	107,702

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
主力品目であるトマトの船舶輸出額の増加 6百万円(H27)→375百万円(H34)	農林水産部	百万円	6	-	-	31	0	72	0	110	/	156	/	369	/	④目標値の達成は5割未満	/
輸出マニュアル作成品目数 0品目(H27)→10品目(H34までの累計)	農林水産部	品目	0	-	-	3	0	3	3	2	/	2	/	10	/	①目標値を達成	/
長期保存向け栽培技術の技術移転農家数 0戸(H27)→121戸(H34までの累計)	農林水産部	戸	0	-	-	31	0	30.00	0.00	30.00	/	30.00	/	121	/	④目標値の達成は5割未満	/

交付対象事業(実施年度)	平成29年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	情報通信及び解析技術を活用した施設園芸の統合環境制御による生産性向上プロジェクト			
事業概要	生産量日本一を誇るトマトに代表される全国有数の施設園芸産地において、環境制御機能を備えた研究施設を整備し、栽培管理条件最適化等による生産性革命と経営体質強化により、地域経済の活性化を図り地方創生を推進。			
実施期間	平成30年3月～令和元年9月			
事業実績	H30年度は、研究拠点整備により、地域の中堅・中小・小規模事業者である農家の土地生産性及び労働生産性を高めるため、情報通信及び解析技術を活用した施設園芸等を開発する各施設の実設計を完了し、本体工事に着手。 R1年度は、地域の中堅・中小・小規模事業者である農家の土地生産性及び労働生産性を高めるため、情報通信及び解析技術を活用した施設園芸の開発等を行う拠点施設の整備を完了。トマトやナス等の試験栽培を開始するとともに、統合環境制御による試験研究に着手。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	1,097,990
			うち交付金	255,108

KPI	指標担当部局	単位	事業開始年	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		合計		令和2年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
高度環境制御システム導入圃場(冬春トマト(ミニトマトを除く))の販売額 4,031百万円(H26～H28平均)→5,323百万円(H34)	農林水産部	百万円	4,031	-	-	323	64.7	323	2.4	323	/	323	/	1,292	/	④目標値の達成は5割未満	/
熊本県農業研究成果情報(環境制御技術、新品種、病害虫発生予測システム等)の発表数 0件(H29)→8件(H34までの累計)	農林水産部	件	0	-	-	-	-	3	3	2	/	3	/	8	/	①目標値を達成	/
栽培管理マニュアル導入し、生産性革命に取り組む農家戸数 0戸(H29)→480戸(H34までの累計)	農林水産部	戸	0	-	-	-	-	180	300	120	/	180	/	480	/	①目標値を達成	/

交付対象事業(実施年度)	平成30年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	熊本地震の震災遺構を活用した回廊型フィールドミュージアムにおける中核拠点整備プロジェクト			
事業概要	地震断層等の震災遺構を巡る回廊型フィールドミュージアムの中核拠点に位置付けている東海大学阿蘇キャンパスを効果的に見学できるよう、1号館建物を保存、整備することで交流人口の拡大を図るとともに、地域産業の振興や地域の活性化を図る。			
実施期間	平成31年3月～令和2年3月			
事業実績	熊本地震震災ミュージアムの中核拠点である旧東海大学阿蘇キャンパス内にある震災遺構を効果的に見学できるようにするため、旧1号館の保存整備及び遺構見学通路の整備を令和2年3月に完了。 令和2年8月1日から一般公開を開始。			
担当部局	観光戦略部	実績額	総事業費(千円)	243,723
			うち交付金	121,862

KPI	指標担当部局	単位	事業開始年	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		合計		令和2年度 評価	令和元年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
1号館建物訪問者数 0人(H30)→195,365人(R5)	観光戦略部	人	0	-	-	24,000	15,269	152,000	/	17,600	/	1,760	/	195,360	/	③目標値の5割以上を達成	/
1号館建物を訪れるツアー参加者数 0人(H30)→19,536人(R5)	観光戦略部	人	0	-	-	2,400	4,270	15,200	/	1,760	/	176	/	19,536	/	①目標値を達成	/
1号館建物訪問による観光消費額 0百万円(H30)→1,914.5百万円(R5)	観光戦略部	百万円	0	-	-	235.20	157.65	1,489.60	/	172.48	/	17.24	/	1,914.52	/	③目標値の5割以上を達成	/